

越美山地 夜叉ヶ池・三周ヶ岳・冠山・金草岳・能郷白山 山行報告

【山城】越美山地（岐阜県と福井県の県境）

【参加者】C L吉川りつ子 S L柘植秀樹 鈴木憲二 鈴木愛子（記録）

【期間】H27年 10/30（金）夜～ 11/3（月）

10/30（金）移動日（千葉⇒羽鳥 PA で仮眠）

10/31（土）夜叉ヶ池 三周ヶ岳

11/1（日）冠山 金草岳

11/2（月）雨天の為、観光（琵琶湖 長浜城 他）

11/3（火）能郷白山⇒帰葉

PART 3：能郷白山

【行程】11/3（火）

道の駅 うすずみ桜の里 5:30 発⇒157号⇒温見峠 能郷白山登山口 6:30 着 6:50 発→
能郷白山頂上 8:20 着 8:40 発→温峠 能郷白山登山口 9:50 着⇒道の駅 うすずみ桜の里で汗を流し
12:30 発⇒東海北陸道 美濃 I C⇒東名高速⇒帰葉



【報告 能郷白山】11/3(火) 天気 晴れ後ガス後晴れ

本によると、能郷白山は、加賀白山を開いた僧の泰澄法師が養老元年、山頂から西方峰続きに格好の山を望み、そこに分身を祠る事を思い立った事から開山されたとのこと。

予定では能郷谷登山口から入山であったが、能郷からの林道が豪雨と台風で沢筋からの土石流が道路を破壊し、通行困難状態。登山口まで4キロ歩く覚悟がいる由。

今日は千葉まで帰る日なので、歩行時間に時間をかけられないので、登山時間が短くて済む、温見峠からのピストンに変更する。

越前と美濃を分け、日本海と太平洋の分水嶺でもある温見峠には、地蔵と案内板があった。峠の案内板のすぐ横の木の階段が登山口で、最初から急登であった。すっかり葉の落ちたブナ、ミズナラ、ナナカマド等の落葉樹林帯の中を歩く。秋というより初冬を感じてであった。



温見峠の登山口



残念ながら能郷白山の山頂は展望なし

稜線に出ると、道の両側が笹の緩やかな道となり、雪化粧をした白山が見えてきた。頂上の少し手前よりガスが出始め、アップダウンを繰り返し進むと、一等三角点のある頂上に着いた。頂上は深いガスの中であった。周りは私達の背丈ほどある笹に覆われ、晴れの場合でも展望は良くない状況であった。5分程南にある白山権現の祠がある所まで行くと360度の展望が待っている由だが、ガスが深く行かなかった。下山は往路をたどる。頂上から少し下りると、ガスがきれ、晴れとなり、温見峠まで快適に歩けた。温見峠から、うすずみ桜の里までの林道を走った時の車窓からの景色は、日の光りを浴びた紅葉がとても美しかった。



中腹まで下山すると晴れてきた



※(ネットから)三周ヶ岳から遠く望む能郷白山

前日に、ネットで、「能郷白山」の「山の天気予報」を調べた時は1日雨で、雷もなる由であった。天気予報が外れ、能郷白山に登る事が出来、本当に良かったと思う。道の駅うすずみ桜の里の温泉で汗を流し、千葉への帰路に着いた。

○10/30(金)～11/3(火)まで4泊5日の山旅を終えての感想

越美山地の山は初めてであり、岐阜県と福井県の県境尾根4ピークを登り、奥深い山域だなと感じた。その山域の色々なことを知る事が出来、紅葉も丁度良いタイミングで、美しい紅葉を見る事が出来て良かった。

一日だけ雨で山に登れず、琵琶湖、長浜城、小谷城址などを観光したこと等も良い思い出となった。

(記録：鈴木愛子)